

エコアクション21



環境経営レポート

2023年度

(対象期間:2023年11月～2024年10月)



有限会社田村興産

発行日:2024年 11月26日

改訂日:2024年 12月12日

I. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名
有限会社田村興産
代表取締役 田村勇人

(2) 所在地
本社: 兵庫県小野市高田町1754番地の2

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
環境管理責任者 進藤朋巳
連絡先: TEL 0794-63-2959
FAX 0794-62-1200

(4) 事業活動内容: 土木工事業、建築工事業、資材販売業

(5) 事業規模
年間売上 318百万円(2023/11～2024/10)

総従業員数(2024/10現在) 3人
延べ床面積 79.05m²
敷地面積 551.30m²

(6) 建設現場等の概要(2023/11～2024/10)
元請工事 2件
下請工事 0件

(7) 事業年度 11月～翌年10月 : 2023年度(2023年11月～2024年10月)

II. 認証・登録範囲

(1) 登録組織名
有限会社田村興産

(2) 対象事業所
本社

(3) 活動
土木工事業、建築工事業、資材販売業

(4)環境経営システム推進組織図



【適用範囲】

有限会社田村興産本社、及び建設現場

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者：社長	①代表者としての環境経営全般に関して責任と権限を持つ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③資源(人・もの・金)の用意をする ④エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境経営レポートの承認
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②EA21文書類の承認をする ③EMS全般の舵取りを行い、実行を推進する ④EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ⑤環境への負荷の自己チェックを実施する ⑥環境への取組の自己チェックを実施する ⑦環境経営レポートの作成
社員及び全従業員	①環境経営目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う ②環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を従業員に周知する ③法規制を遵守する ④教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる ②作業所環境目標、経営計画の達成と実績の把握を行う 他

Ⅲ. 環境経営方針

環境経営方針

「社会的責任を果たし地域社会に貢献する」ために、地域環境問題と事業の発展を両立させ、顧客満足及び従業員満足のある建設活動及び資材販売業務に努めます。

1. 当社の事業活動に伴う環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 電力及び化石燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 水使用量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減
2. 事業活動を通じて環境改善に努めます。
 - (1) 環境に配慮した重機・再生資源の利用
 - (2) 事務用品・資材販売品のグリーン調達
3. 関係する環境法規等及びその他の要求事項を遵守します。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。
5. 環境経営システムの継続的改善を図ります。

制定日：2015年 4月20日

改定日：2024年 2月 1日

有限会社田村興産

代表取締役 田村勇人

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,245	2,684	1,946
電気使用量	kWh	3,518	3,924	3,806
ガソリン使用量	ℓ	278	450	153
産業廃棄物排出量	t	0	0	0
水使用量	m3	15	13	11

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

(1) 目標

年 度		基準年度 2013年度	2024年度	2025年度	2026年度
項 目					
* 事務所の電気使用量削減	kWh	3,783	3,783	3,783	3,783
	kg-CO ₂	1,581	1,581	1,581	1,581
	対基準				
ガソリン使用時の燃費の向上	km/ℓ	18.56 2022年度	13.56	13.56	13.56
	走行距離	10,939	—	—	—
【参考】ガソリン使用量	ℓ	789	450	450	450
	kg-CO ₂	1,830	1,044	1,044	1,044
軽油使用量削減	ℓ	819	50	50	50
	kg-CO ₂	2,113	129	129	129
	対基準		△94%	△94%	△94%
混合廃棄物の削減	t	1.81	1.59	1.59	1.59
	対基準		△12%	△12%	△12%
* 水使用量の削減	m3	21	18	18	18
	対基準		△14%	△14%	△14%
事務用品のグリーン購入拡大	%	60%	75%以上	75%以上	75%以上
* グリーン購入額	千円	59	—	—	—
消耗品購入額	千円	98	—	—	—
(公共)工事点数の向上	兵庫県	80点	80点	80点	80点
	小野市	70点	70点	70点	70点

①電気使用量の二酸化炭素排出係数は、2017年度調整後排出係数:0.418kg-CO₂/kWhとする(電力会社:関西電力)

②事務用品のグリーン購入比率:グリーン商品購入額÷全購入額×100(%)とする

③関連会社に間借りしているため、一部数値(*印)は関連会社の11分の1(従業員数比)で算出している

④混合廃棄物は会社に設置しているバツカンの混合廃棄物量の削減を目標値としている

⑤自動車のガソリンは燃費を目標とするが、二酸化炭素排出量全体を集計するには自動車からの排出量も必要なため参考としてガソリン使用量を記述する。

⑥良い工事点数をとるためには、効率的な現場運営(手戻りがない、余分な材料は使わない等)が必要であり、間接的にも環境活動にも寄与していると考えため目標に掲げる。

⑦化学物質は少量使用のため目標設定はしていない

(2)運用期間の実績

項 目 \ 年 度		基準年度	運用期間における実績			
			2023年度(2023.11.1～2024.10.31)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
事務所の電気使用量削減	kWh	3,783	3,518	3,806	92.4%	△
	kg-CO ₂	1,581	1,471	1,591		
	対基準		△7%	+1%		
ガソリン使用時の燃費の向上	燃費	13.86km/ℓ	13.86km/ℓ	12.78km/ℓ	92.2%	△
	対基準		±0	▲1.08km/ℓ		
	走行距離	10,939	—	1,956		
【参考】 ガソリン使用量	ℓ	789	—	153		—
	kg-CO ₂	1,830	1,830	355		
軽油使用量削減	ℓ	819	50	0	—	○
	kg-CO ₂	2,113	129	0		
	対基準		△94%	—		
【参考】 現場での電気使用量の削減	kWh	—	—	—	—	—
	kg-CO ₂	—	—	—	—	
kg-CO ₂ の合計(参考)		—	—	1,946	—	—
混合廃棄物の削減	t	1.81	1.59	0.00	—	○
	対基準		△12%	—		
水使用量の削減	m3	21.00	18.69	11.46	163.1%	○
	対基準		△11%	54.5%		
グリーン購入拡大 グリーン購入額 消耗品購入額	%	60%	75%	59%	78.7%	×
	対基準		+15%	▲1%		
	千円	59	—	59		
	千円	98	—	99		
資材販売品のグリーン調達	再生砕石			5084.83	実績を把握中	
	生コンBB			12315.60	実績を把握中	
	再生As			17.50	実績を把握中	
工事点数のアップ	点	県80点、 小野市77点	県80点、 小野市70点	県なし、 小野市なし		—

注)評価欄にて、○:達成、△:達成度90%以上100%未滿、×:達成度90%未滿 —:対象外

VI. 環境経営計画の取り組み計画と結果の評価及び次年度の取り組み内容

取り組み計画	取組状況	達成状況		評価結果と次年度の取り組み内容
事務所の電力使用量の削減				
・明るい場所、不在時は電気を消す	○	目標	3,518kWh	夏場の猛暑のため、エアコンの使用量が増えたため目標値をオーバーした。こまめな消灯や、クールビズはできた。取り組みは継続する。
・昼休みは消灯する	○	実績	3,806kWh	
・クールビズ、ウォームビズの推進	○	達成度	92.4%	
・室内温度の管理(冷房時28℃、暖房時21℃)	△			
ガソリン使用時の燃費の向上				
		目標	13.86km/ℓ	車の使用量が減ったのが主な要因で、目標は未達成。取り組みは継続する。
・空ぶかしをしない	○	実績	12.78km/ℓ	
・効率的な運転の励行	○	達成度	92.2%	
軽油の使用量削減				
		目標	50ℓ	重機を使用するような工事の受注がなかったため軽油の使用がなかった。取り組みは継続する。
・空ぶかしをしない	—	実績	0	
・効率的な重機の使用	—	達成度	—	
混合廃棄物の削減				
		目標	1.59t	今年度の工事では産業廃棄物が出なかった。取り組みは継続する。
・産業廃棄物の分別の徹底	—	実績	0	
		達成度	—	
水道使用量の削減				
		目標	18.69m3	不要な水を流さない意識づけができています。取り組みは継続する。
・水の出しっぱなしをしない	○	実績	11.46m3	
・洗車はブラシで泥を落としてから行う	○	達成度	163.1%	
グリーン購入の拡大				
		目標	75%	グリーン商品がないのもあり目標は未達成であった。継続した取り組みは検討する。
・事務用品のグリーン商品、エコ商品購入	△	実績	59.0%	
		達成度	78.7%	
工事点数のアップ				
		目標	県80点、小野市70点	公共工事が無く、工事点数はつかなかった。取り組みは継続する。
・こまめな連絡で要求事項の把握	—	実績	—	
・無事故無災害	—	達成度	—	

VII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反と訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
フロン排出抑制法	空調機器の簡易点検、点検記録の保管	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準(85dB)の遵守	該当なし
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準(75dB)の遵守	該当なし
廃棄物処理法	マニフェストの発行、照合、適正処理、収集運搬・処分業者との適正契約、許可証の確認、中間処理場等の現地確認、契約書の確認、有効期限の確認 保管基準の遵守、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の届出、知事への事前報告	該当なし
建設リサイクル法	分別解体、特定建設資材廃棄物の再資源化	該当なし
再生資源利用省令	再生資源の再利用、再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書の作成	該当なし

環境関連法規制の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制は遵守されていました。

関係当局からの環境法規制への違反等の指摘はありませんでした。

訴訟、環境上の苦情等も過去5年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

ここ数年、こども園関連工事のみの完成工事高となっている。こども園からはいつも声を掛けて頂き、少額ながら要望に応える仕事はできている。今後も仕事を継続して頂けるように、誠心誠意取り組んでいきたい。

材料の再生品（再生砕石、生コン（BB）、再生アスファルト）の出荷状況は総出荷量の78%を占めており環境に配慮した形になっている。今後も継続していきたい。

環境経営方針・環境経営目標及び環境経営計画・実施体制について見直した結果、変更の必要性はなかった。

2024年11月28日

代表取締役 田村勇人